

授業科目名： 獣医学特別演習（岩手大学）		単位数 1 単位	担当教員名： 教授・准教授
			担当形態： 単独
配当年次： 1・2・3・4 年次前期・ 後期	授業形態： 演習科目		開講形態： 岩手大学独自開講
授業のテーマ及び到達目標： 日本及び世界を代表する研究者の講演を聴講し、研究における発想、遂行の方法、結果の解釈、発表方法などについて学ぶ。			
授業の概要： 最先端の研究を行っている研究者の講演会等に参加し、より先進的な研究を発案する力及び新しいものを生み出すイノベーション力を養成する。			
授業計画： 自大学他組織や、他大学・大学院などにおいて、開催される 1 単位相当の講義、講演会、シンポジウム等に参加し、獣医学に関連した最先端の知識を身につけ、より先進的な研究を発案する力、及び新しいものを生み出すイノベーション力を養成する。自身の研究テーマ、研究の進行状況等を鑑み、研究をさらに推し進めるために必要な知識、実験技術について自ら検討を行い講義等の参加スケジュールを立案し、それを基に指導教員と議論の上、参加する講義、講演会、シンポジウムを選択する。さらに、優れた研究者の発表を聴講することで、研究における発想、遂行の方法、結果の解釈、及び発表方法などについても学ぶ。 このため、合計 15 時間以上の講演会あるいはシンポジウムなどに参加し、聴講した講演を詳しく分析し、自身の研究にどのようにその内容を取り入れることが可能かを考察した上で、聴講した講義などの内容の発表を行い、レポートを作成し、指導教員による評価を受ける。 （板垣 匡） 獣医寄生虫学、分類、形態、疫学、分子系統 （宇塚 雄次） 獣医神経病学、画像診断、獣医麻酔学、獣医放射線治療、環境放射線 （岡田 啓司） 生産獣医療学、牛、代謝、アニマルウェルフェア、行動、生産性 （落合 謙爾） 獣医病理学、動物疾病、病理発生、ウイルス、腫瘍 （木崎 景一郎） 動物生命科学、総合動物科学、分子細胞生理学 （佐藤 至）			

環境衛生学、放射性物質、化学物質、重金属、環境汚染

(佐藤 洋)

薬学、薬理、基礎医学、トキシコロジー、内分泌、実験病理、化学療法

(高橋 透)

繁殖障害の診断・治療・予防

(古市 達哉)

動物生命科学、総合動物科学、実験動物学、疾患モデル動物学、発生工学

(村上 賢二)

微生物学、獣医感染症学、獣医免疫学、病原微生物、ウイルス、動物ウイルス感染症、感染免疫、診断・予防

(山本 健久)

獣医衛生学、獣医公衆衛生学、獣医疫学、統計、数理モデル、シミュレーション、分子疫学

(山崎 真大)

小動物内科学、獣医血液病学、原虫病

(山本 欣郎)

動物生命科学、総合動物科学、神経系比較組織学

(寺嶋 淳)

農芸化学、基礎医学、社会医学、食品微生物学、細菌学、公衆衛生、食品衛生、予防医学

(片山 泰章)

獣医外科学、臓器移植、腎臓病学、整形外科学

(中牟田 信明)

動物生命科学、総合動物科学、感覚器解剖学

(山田 慎二)

病原微生物、防疫、疾病予防・制御

(山田 美鈴)

動物生命科学、統合動物科学、ホメオスタシス維持機構

(星野 有希)

獣医外科学、臨床腫瘍学、軟部組織外科学

テキスト：特になし

参考書・参考資料等：特になし

学生に対する評価：講演会などの参加状況、態度とレポートなどにより総合的に評価する。